

令和6年度



大三小だより

9 月 号

令和6年9月2日
大田区立大森第三小学校
校長 桐田 裕貴

大森第三小学校のホームページでも、こどもたちの学校生活や大三小に力をくださる皆様の様子を紹介していますので御覧ください。
ホームページアドレス <https://www.ota-school.ed.jp/oomoridai3-es/> ホームページ内「学校生活」→「学校ブログ」→「2024年度」

「先生」

校長 桐田 裕貴

開校100周年を迎える今年度、「先生」という存在について考えることが度々あります。ニュースやインターネットで取り上げられる「先生」の姿は、必ずしもよいものであるとはかぎりません。一方で、小学校時代のことを思い返すとき、当時の先生の話や先生との思い出が心をよぎる方もたくさんいらっしゃると思います。

私が4年生のとき、高知県出身の先生が担任になりました。運動会が近付くと、それまで見たこともなかった鳴子が高知から届き、本番では「よさこい鳴子踊り」を踊りました。削られる前の経節を初めて見せてくれたのも、その先生でした。また、帰りの会のとき「地元の足摺岬にはよく台風が上陸し、海から大きな波が迫ってくるように感じた。」「台風の目に入ると、それまで真っ黒だった空が夕焼けの影響なのか真っ赤に染まった。」という話をしてくれたことを今でも覚えています。大人になって足摺岬を訪れたとき、「あのとき先生が話していた場所に來たんだ。」という思い出を回収したような気持ちになりました。

100周年実行委員長にその話をしたところ、「6年生のとき、担任の先生に背中を押されて、大勢の人の前で話す経験をしたことがあります。そのときは、うまく話せませんでした。褒めるときも叱るときも真剣だったその先生が挑戦させてくれたことが、大人になって大勢の人の前でうまく話せるようになっていたいと思ったきっかけです。」という話をしてくださりました。

「先生」が担っている仕事は、決められた勤務時間の中で到底完結するものではありません。日本中の「先生」たちが、個々の使命感、こどもたちへの愛情、保護者の期待に応えようという思いで頑張っています。2学期は、生命尊重・エールウィークで幕を開けます。大三小の先生たちが、こどもたちのやる気と成長につながるようにエールを送ります。頑張るこどもたち、そして、「先生」たちへのエールもどうぞよろしくお願いいたします。

台風は、特に8月から9月に集中的に発生します。過去に日本に大きな災害をもたらした台風の多くは、9月に発生しています。7月に配布させていただいた「災害時基本方針」は、大森第三小学校ホームページの「教育活動」にも掲載しています。台風や地震が発生したときの登下校などの基準になりますので、御一読ください。

9月の行事予定

日	曜	朝	行 事 予 定	放課後 Sun3	補習	SC
1	日					
2	月		始業式 授業④B 引き取り訓練			
3	火	きまり	給食始 計測6年 生命尊重・エールウィーク始	○		○
4	水	学S高	計測5年			
5	木	学S中	計測4年 A時程			○
6	金	読書	計測3年 夏休み作品展始			
7	土					
8	日					
9	月	朝会	計測2年 委員会			
10	火	安全	計測1年	○		○
11	水	学S低				
12	木	運集	JR安全教室2年2～4校時 野井先生講演3年5校時	○		○
13	金	読書				
14	土					
15	日					
16	月		敬老の日			
17	火	学S高	ミニコンサート123年③	○		
18	水	学S中	4時間授業 研究授業のため 2年3組のみ5時間			○
19	木	児集	A時程 たて割り班活動④			○
20	金	読書	生活科見学12年 巨人軍体育支援授業4年			
21	土					
22	日		秋分の日			
23	月		振替休日			
24	火	学	高学年 SUN 長縄	○		○
25	水	学S低				
26	木	委発	学校保健委員会14時～	○		○
27	金	読書				
28	土					
29	日					
30	月	朝会	委員会(10月度)			

9月の生活目標 規則正しい生活をしよう

生活指導部 岡田 伸明

夏休みが終わり、2学期が始まりました。夏休み中に生活リズムが不規則になってしまった児童も多くいると思います。起床時刻や就寝時刻を元の生活リズムに戻し、規則正しい生活を送りましょう。

まだまだ暑い日が続いています。適宜、汗を拭かせたり水分補給をさせたりして、体調管理に気を付けるよう指導していきます。引き続き御家庭でも、健康状態の確認をお願いいたします。

〈防災について〉

生活指導部 黒田 賢一

地震や台風などの災害はいつどこで起こるかわかりません。しっかりと学んでおくことで、普段からどう備えておくか、起きた時にどうするといったのを知ることができます。

本校では毎月、地震、火災だけではなく、津波、風水害など、いろいろな場面を想定して避難訓練を実施しています。また、学校防災拠点会議を行い、地域と学校が連携して災害時における非常事態の対応について取り組んでいます。

9月は防災月間です。この機会にいざという時に備えて様々なことを想像し、どこに避難すればよいか、家族との連絡の取り方など、御家庭でも話し合ってみてください。一人一人の避難行動を決めることが、「自分の命は自分で守る」につながります。併せてハザードマップ（災害予測図）を活用してマイ・タイムラインの作成に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

〈外国語活動・外国語〉

外国語担当 松下 恵

日本の玄関口である羽田空港を擁する大田区では、1年生から外国語活動を行っています。授業は担任や講師とALTがチームで行います。1・2年生では歌やゲームを中心に楽しみながら外国語に触れ、3・4年生では週に1時間授業を行います。5・6年生からは教科外国語として週2時間の授業が始まります。5年生までに慣れ親しんだフレーズをもとに英語で話したり書いたりする活動を中心に学習を進めていきます。活動を通してコミュニケーションの力をつけていけるよう支援していきます。

〈夏休み作品展について〉

教務部 小沼 ゆか

夏休み明けの教室前の廊下に、こどもたちの趣向を凝らした作品が飾られます。今年度はどのような作品展になるのか、とても楽しみです。

自由研究に取り組むことに難しさを感じたお子さんもいるかもしれません。でも、その試行錯誤も含めて学ぶ面白さを知る一歩となり、研究する過程がこどもたちの成長につながったことと思います。

9月6日（金）からの1週間、夏休み作品展を実施しています。ぜひ、御鑑賞ください。

〈図工室から〉

図工専科 岩崎 裕美

図工室にあるクーラーが新調されました。しかし、3階のため、だんだん太陽の光に照らされた校舎はじわじわと熱くなり冷えにくくなります。同様に、授業でどんな題材を取り組むのか、始めに出会う瞬間はサラツとしていますが、題材を聞いて、活動するための興味・関心が高まると作品づくりにものすごいエネルギーを込めて作品に向き合います。児童が作品を片付けて自分の教室に帰っていても残された作品はまだ、ホカホカです。今年は展覧会が2月にあり、1学期から作品を作りたいめています。周年の行事に向けて、全校制作の金屏風にも挑戦しています。低学年は台紙に折り紙を貼り、中学年は花や葉の色を塗り、高学年は健康キャラクターを金屏風の中に描いています。

〈音楽室から〉

音楽専科 工藤 未来

今年度は、スモールステップで確実な学力が身につくようタブレットを利用しながら授業を行っています。どの学年も積極的に、合唱・リコーダー奏・グループでの合奏・リズム作りと様々な学習に取り組みました。

11月は連合音楽会があります。学校を代表して、5年生がアプリコにて合唱と合奏の発表を行います。日々の授業で取り組んできた成果を出し、連合音楽会の成功を目指して取り組んでいきます。2学期以降も、タブレットを効果的に活用しながら、大三小のこどもたちと共に楽しみ、音楽の授業が出来るよう取り組んでいきます。



〈エールウィークについて〉

人権部 神谷 優香

エールウィークの取組の目的としては、一人一人のこどものよさを見付け、そのよさを対面で伝えることでこどもたちの自己肯定感を高めることにあります。

学校に行きたくなくなる子が増える長期休業明けに教師が意識して取り組むことで、効果がさらに高まると考えています。エールウィークでは、教師からこどもたちへたくさんの「エール」を送っていきます。

また、日常的にもこどもたちの言動を価値付けることで、自己肯定感だけでなく、自己存在感や自主性・自発性、創造性なども高めていきたいと思っています。